

§ おそきの学校と地域を考える会の紹介 §

平成22年3月に「おそきの学校の今後を考える会」として活動開始。当時から地域の子どもの減少は行事参加者間で話題となっており、校長先生方とPTAで話す中地域の方々とも相談してはどうかとの話で話し合いの場を実施することとなったもの。小中学校長、保育園長、自治会第6支会正副支会長、小曾木市民センターの方も会員とし、地域の誰もが参加できる場での検討を進めるとともに、2年後に学校のことだけを考えても生徒数の減少への歯止めはかけられない状況から、「おそきの学校と地域を考える会」に名称変更を行い、規約を定め、地域自治会・青梅市との協働事業へと取り組みの連携を深めた都内でも珍しい活動形態のグループです。(問い合わせ先:若林良弘 090-2173-9267 osokinogakkou@gmail.com)

平成28年度 おそきの学校と地域を考える会 事業計画

事業名	実施内容
1 考える会の開催	<p>計4回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4/19 H27事業・決算報告、H28事業・予算計画、おそきだより第16号準備等 ・以後の3回はおそきだより準備時期に合わせて実施(案7/26、10/25、1/17) ・考える会の中では、今年度の事業内容の準備や時期に適した内容を話題にする 
2 おそきだより事業	<p>第16号(6/26)、第17号(9/23)、第18号(12/8)、第19号(3/3)の計4回編集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考える会による編集、青梅市予算、第6支会協力による全戸配布発行 ・第6支会休会自治会長宅には持参し配布依頼、富岡市営住宅にはポスト配布
3 おそき地区紹介 ホームページ事業	<p>おそき地区の紹介を様々な方向から行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いいとこ ・地域イベント ・学校、保育園 ・住宅、移住者 ・考える会活動など ・更新は考える会会員が適時行う (アドレス:http://www.osoki-ome-tokyo.jp/)
4 おそき一斉メール事業	<p>2週間に1回程度の配信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小曾木地区等の予定、地域情報、考える会情報、ホームページ更新情報等 ・緊急時には、確実な情報源の地域情報を発信 
5 小曾木っ子まつり	<p>5/1(日)小曾木市民センターにて実施</p>  
6 小曾木っ子おもちつき	<p>3月または2月に第7小学校グラウンドにて実施予定</p>  

7 ようこそおそき事業

青梅市市民提案
協働事業として採択済

申請内容全体として、
青梅市まち・ひと・しごと
創生総合戦略と連動

☆おそきDEプチ田舎暮らし体験 ⇒ 農林課との協働

田植え、田んぼの手入れ、稲刈り、送付までを一貫とした事業
さつまいも植え、手入れ、収穫までを一貫とした事業



☆空家バンク充実事業 ⇒ 住宅課との協働

空家バンクの運用を充実させ、小曾木地区への移住を推進する事業

* 地域住民アンケート ⇒ 市民活動推進課、小曾木市民センターとの協働

小曾木地区住民への地域創生に関するアンケートの実施

・定住意識 ・充実感 ・不安面 ・今後のイメージ作りなど

アンケート作成、アンケート配布・回収(回覧ルート)、アンケート集計、公表

☆おそきDE恋活プロジェクト ⇒ 企画政策課との協働

行政テーマ提案「若者の出会いの場の設定事業」に該当

20~30代での出会い設定プラス40代での出会い設定

実施内容の一部は、プチ田舎暮らし体験とも連動



* ハイキングマップの作成 ⇒ 商工観光課との協働

東青梅駅、青梅駅、飯能駅から岩蔵温泉へのハイキングマップの作成

8 今後の協働検討

青梅市まち・ひと・しごと
創生総合戦略と連動

* 宿泊型農業体験 ⇒ 農林課、住宅課との協働

空家を利用した宿泊型農業体験の具体化

富岡の乙黒耕地にて、空家を活用しての実施準備

9 会の目的達成のため

の事業

①学校の発展へつなげる事業

・諸事業への協力、PRの実施

②地域福祉の向上、地域活性化へつなげる事業

・考える会の活動年度計画やプロジェクトについて地域回覧の実施

・メディア報道による地域の情報発信での地域活性化

・考える会フェイスブックでの地域PR

